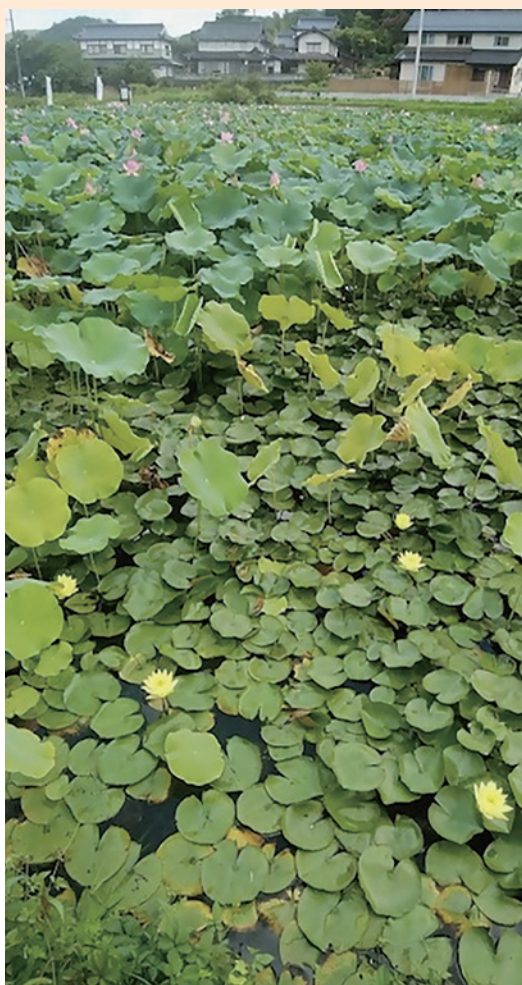


民児協 あこう

支えあう 住みよい社会 地域から

第 65 号 令和 6 年 秋号



美作市蓮池



尾崎地区盆踊り



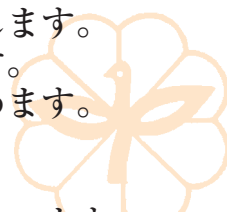
赤穂御崎海岸



民生委員児童委員行動宣言

1. 安心して住み続けることができる地域社会づくりに貢献します。
2. 地域社会での孤立・孤独をなくす運動を提案し行動します。
3. 児童虐待や犯罪被害などから子どもを守る取り組みを進めます。
4. 多くの福祉課題を抱える生活困難家庭に粘り強く接し、地域社会とのつなぎ役を務めます。
5. 日頃の生活を活かし、災害時に要援護者の安否確認を行ないます。

全国民生委員児童委員連合会





民生委員・児童委員 各地区活動報告

赤穂地区「地域の輪 納涼祭」

コロナで抽選会のみだった納涼祭が、今年は賑やかに開催されました。中広、中洲自治会では、射的・ボールすくい・焼きそばと子どもの縁日を中心に企画されていました。縁日にプラスして、山手町自治会では、素麺流し、上町自治会と南野中自治会では盆踊りが企画されていました。いろんな行事がなくなりつつある今、地域住民との触れ合いの一環として、また、子どもたちの夏休みの思い出のワンシーンになればと願い、民生委員・児童委員も参加させていただきました。



御崎地区「給食サービス」

御崎地区地域福祉推進連絡会では、毎月第1水曜日、年間8回の給食サービスを実施しています。3月に一年間の献立を立て、前日に新鮮な物を選んで買い物します。当日は衛生管理に十分注意して調理をし、出来立てを配達します。皆さん楽しみに待ってくださいます。詳しくは赤穂市社会福祉協議会のホームページをご覧ください。詳しくは赤穂市社会福祉協議会のホームページをご覧ください。詳しくは赤穂市社会福祉協議会のホームページをご覧ください。詳しくは赤穂市社会福祉協議会のホームページをご覧ください。



城西地区「給食レシピ研修会ぼこたんで親睦」

城西地区では、7月17日に給食レシピ研修会を実施しました。「食中毒の防止は手洗いから」をテーマに、資料をもとに衛生的な手洗いの基本を学習しました。これまで、給食サービスを始めてから食中毒の発生はありませんでしたが、手洗いの重要性と注意事項を再認識し、今後の活動に活かしていきたいと思いました。今回は、室内でできる「ぼこたん」のゲームで、気もちのよい汗を流し親睦を図ることができました。



坂越地区「学習会で新発見！」

今年は、4月から5月にかけて民生委員・児童委員と地域福祉推進委員合同で学習会を行いました。始めに、管理栄養士さんを講師に迎え、「お弁当づくりの注意点」と題して、一度実際の弁当づくりを見ていただいた上で、当地区に合った改善点等と基本事項を指導していただき新発見。次に、「赤穂すこやかセンター」、「赤穂仁泉病院」に伺いました。両施設とも参加者の多くの方が、「名前も場所もわかるけど、入ったことがないな」というところでした。今回訪問して、「私たちにあって、とても大切な場所である」ことを新発見しました。

塩屋地区「笑顔が溢れる地域に根ざした活動」

塩屋地区では、4月に5年ぶりに「花見のつどい」を開催しました。会場内に所狭しと咲き誇った山桜を愛でながら、美味しいお弁当を頬張り、演芸を楽しみ、心地よい有意義な時間を過ごすことができました。また、年8回実施している給食サービスもアイデアを出し合って、喜ばれる給食づくりに精を出しています。対象者の方々からの「ありがとう。美味しくいただきます」という言葉に癒されます。9月には、中学校の地区懇談会に参加し、地域における活動内容を説明しました。これからも地域に根ざした様々な活動を通して、「笑顔が溢れる」塩屋地区となるよう、地道に活動していきます。



高雄地区「友愛訪問：笑顔の交歓」

高雄地区の友愛訪問は年3回、2月、5月、8月に実施しています。2月と5月は、地域福祉推進委員さんの手作りのちらし寿司、8月は素麺にお手紙を添えて訪問しています。今回は、赤穂警察署の方と一緒に訪問し、交通安全などの呼び掛けをしました。訪問先の方々から、「ありがとう」「おいしかったよ」と言っていただき、こちらも元気をもらっています。これからもたくさんの「笑顔の交歓」をしていきたいと思ひます。



西部地区「活動報告」

コロナの影響も緩和されるなか、定例行事の再開も進んでおり、地区住民の方々に役立つことを展開しています。地域の安心と喜びの手助けになることを理念としています。また、社会状況は、安全・安心がより問われるようになっているので、リスク管理に配慮しながら、行事の運営を行っています。今回は、赤穂西中学校区・地区懇談会に地区内の民生委員・児童委員全員が参加し、主任児童委員の学校へのかかわりと民生委員・児童委員の活動の紹介を行いました。



有年地区「活動報告」

①「食中毒防止は手洗いから」をテーマとした講習会を実施。赤穂市で行われた、給食サービス事業打合せ会で学んだ内容を地域で共有化。給食サービス責任者が講師役となり、民生委員・児童委員と地域福祉推進委員の全員で受講し、知識の向上と意識の再確認を図りました。
②福祉バザーで集まったタオルの一部を利用して「雑巾づくり」を実施。必要ところで役立ててもらえればと活動。地元の介護施設で利用してもらえることになり、お渡しすることが出来ました。

尾崎地区「活動報告」

あなたに会いたい民生委員・児童委員は地域の福祉推進活動にさまざまな形で参加しています。5月ひとり暮らし老人ふれあい交歓会、6月自治会長との意見交換会、7月中学校、小学校、幼稚園、保育所、社会福祉協議会、赤穂警察署の皆さんとの見守り懇談会、夏の友愛訪問、8月まちづくり盆踊り会場での模擬店参加などで、子どもからお年寄りまでいろんな形で交流できました。猛暑対策でお休みしていた有料給食も10月から再開し、今後も皆さんの見守り活動を積極的に行ってまいります。



広報部会「活動を振り返って」

広報部は皆さんからお寄せ頂いた貴重な原稿の、その活動を紙面にどう表せば気持ちが伝わるのかと考えながら、見やすく読みやすくできるかに、全神経を集中させてきました。幾多の委員の方々の叱咤激励に支えられ、今があることを実感し、今後一層の励みにしていきたいと思ひます。





児童福祉部会

8月に9つのアフタースクールを、地区ごとに訪問させていただきました。訪問して良いと思ったのは、①安心・安全な子どもの居場所である②異学年交流ができる③友達が多くできる④学習の習慣が身につく⑤共に遊んで知恵がつく、でした。また課題と思ったのは、①多人数のアフタースクールではスタッフ不足できめ細やかな対応が困難②教室等が不足気味③逆に子どもの自由が阻害されないか、でした。近頃は子どもの居場所が問題となっておりますが、アフタースクールは、スタッフに多大な苦勞があるものの、児童の居場所として良い方策だと思いました。今後、私達も地域を児童の良い居場所とするべく努めていきたいと思ひます。

障がい者福祉部会

5月に協力参加を予定していた赤穂精華園祭は今年も園内行事となりました。5月29日「親睦グラウンドゴルフ大会」を開催しました。“さんぽみち”さんから2名、社会福祉課の方1名に参加して頂き親睦を深める事ができました。

能登半島地震の報道を見て障がい者の方はどこへ避難されているのかなとの思ひから部会研修として6月11日に市役所危機管理担当上杉係長に「福祉避難所」をテーマに講演を行って頂きました。防災対策は各自でおこななければならない事と専門的な支援・援護の必要性が高い方などに対しては福祉避難所についての周知を広く図る事がとても大切であると思ひました。

これからの民生委員活動に役立てていきたいと思ひます。

高齢者福祉部会

今年の夏も猛暑が続き屋外での行事は熱中症になる恐れがあるため、暑さがおさまる秋に実施することにしました。

6月には、市外視察研修として「明石市防災センター」と神戸市の「櫻ホーム西神」を訪問しました。防災センターでは、震度5弱を体感し、また煙の中を歩く体験をしました。今後発生が予想される南海トラフ巨大地震に備えていきたいと思ひます。

「櫻ホーム西神」の、施設内は広くてゆったりとしていて、ゆとりある空間が広がっていました。天井にはホイストレールが敷かれて入所者を移動する時にはホイストを使用して職員の負担が軽くなるようにしていました。将来我々がお世話になるかもしれません、入所を希望される高齢者にアドバイスが出来れば良いと思ひます。



「不思議な『ちから』」

赤ちゃんの頃から関わっている4歳児さんが私を見て「髪の毛が白くなってるよ」と不安そうに言ってきました。「どうしよう、おばあちゃんになっちゃう」と答えると「大丈夫!」と小さな指で魔法をかけてくれました。少し若返ったような気がしました。

また別の日、習い事に行く途中、今までは嫌がっていたのに「習い事、大好き!」と。無理しているのかなあと思ひたけれど、自分に魔法をかけていたのかもしれない。

子育てに奮闘中のお母さん、自分にリラックスする魔法をかけてみましょう。私はチョコレートで魔法をかけようと思ひたけれど、この前「ちょっと太ってるね」と言われちゃいました。誰か私に魔法をかけて!!



編集後記

先般、地区の高齢者世帯へ友愛訪問で伺いました。暑い時、寒い時にも、屈託のない、いつもどおりの笑顔にホッと、時には、その笑顔に癒されてきました。にっこり微笑んで「ありがとう」の一言に、活動の疲れが吹き飛ばす瞬間も、幾度となく経験してきました。「民児協あこう」に、寄稿して下さる方々にも、ずいぶんご無理を言い、ご協力頂きました。感謝申し上げます。㊀